

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 GFA株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8783 URL http://www.gfa.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 片田 朋希
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 主任 (氏名) 西野 麻衣 (TEL) 03-6432-9140
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|--------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 1,442 | △37.5 | △1,076 | — | △997 | — | △1,315 | — |
| 2020年3月期第3四半期 | 2,309 | 248.1 | △120 | — | △144 | — | △169 | — |

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △1,314百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △169百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | △101.31 | — |
| 2020年3月期第3四半期 | △17.05 | — |

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株あたり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 2,481 | 435 | 16.6 |
| 2020年3月期 | 3,448 | 1,479 | 42.7 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 413百万円 2020年3月期 1,474百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2021年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2021年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|--------|---|--------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,525 | 5.5 | △1,229 | — | △1,147 | — | △1,465 | — | △104.54 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期通期連結業績予想の修正の詳細につきましては、本日(2021年2月12日)公表いたしました「助成金、営業投資有価証券運用損、特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

特定子会社の異動はありませんが、当第3四半期連結会計期間において、株式会社SDGs technologyを設立し、同社を連結範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2021年3月期3Q | 14,309,800株 | 2020年3月期 | 12,149,300株 |
| 2021年3月期3Q | 300,449株 | 2020年3月期 | 300,449株 |
| 2021年3月期3Q | 12,981,699株 | 2020年3月期3Q | 9,927,331株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (追加情報) | 10 |
| 3. その他 | 11 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）における我が国経済の業況判断につきましては、日銀短観（2020年12月14日発表）によりますと、企業の景況感を示す業況判断指数(DI)が大企業・製造業でマイナス10ポイントとなり、9月の前回調査から17ポイント改善しました。製造業では自動車を中心に景況感が持ち直したものの、非製造業では新型コロナウイルスの感染再拡大により先行きに慎重な姿勢が目立ちました。

世界経済につきましては、新型コロナウイルスのワクチンが普及し始め、アメリカ経済も2021年中にはコロナ危機前の水準を取り戻す見通しです。

国内不動産業界につきましては、三鬼商事株式会社によりますと、2020年12月時点の都心5区（千代田、中央、港、新宿、渋谷）のオフィス平均空室率は4.49%となり、2015年9月以来、5年3カ月ぶりの高さとなりました。在宅勤務の広がりによるオフィスの集約などで解約の動きが出ています。

このような環境のもと、当社グループは収益獲得の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,442,472千円（前年同四半期比37.5%減）となり、経常損失997,780千円（前年同四半期は144,384千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失1,315,238千円（前年同四半期は169,293千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

当社は前連結会計年度末日をみなし取得日として空間プロデュース事業を行うアトリエブックアンドベッド株式会社及び株式会社CAMELOTを連結の範囲に含めております。当該事実を鑑み報告セグメントとして「空間プロデュース事業」を新たに追加しております。また、当社は2020年よりレーシングゲームアプリの開発を始め、2020年9月及び12月には株式会社CAMELOTが運営するCLUB CAMELOTを会場としてeスポーツ大会を開催いたしました。今後の事業拡大に鑑みて第2四半期連結会計期間より報告セグメントとして「ゲーム事業」を新たに追加しております。

①金融サービス事業

金融サービス事業につきましては、主としてファイナンシャル・アドバイザー事業、投融資事業及び不動産投資事業の営業活動を行ってまいりました。ファイナンシャル・アドバイザー事業につきましては、取引先の資金調達支援や財務戦略の助言などに努めました。投融資事業につきましては、様々な事業者の事業資金需要に応える事業融資を実行しました。また、投資しているファンドについて営業投資有価証券運用損を計上いたしました。不動産投資事業につきましては、神戸の1棟マンションの売却をいたしました。

この結果、売上高は930,578千円（前年同四半期比54.8%減）、セグメント損失は612,700千円（前年同四半期は77,020千円のセグメント損失）となりました。

②サイバーセキュリティ事業

サイバーセキュリティ事業につきましては、主として、海外製のサイバーセキュリティ商品を国内の民間企業向けに販売を行いました。また、テレワークやオンライン会議が急速に普及し情報漏洩等のリスクが高まっていることから、法人向けのセキュリティ診断サービスを開始し、営業活動を行いました。

この結果、売上高は197,855千円（前年同四半期19.7%減）、セグメント利益は28,276千円（前年同四半期は43,673千円のセグメント損失）となりました。

③空間プロデュース事業

空間プロデュース事業につきましては、宿泊施設・カフェの運営及びナイトクラブの運営による営業活動を行ってまいりました。カフェ営業やナイトクラブの昼間営業に注力しましたが、新型コロナウイルス感染症による休業の影響を受けた結果、売上高は273,993千円、セグメント損失は336,070千円となりました。

④ゲーム事業

ゲーム事業につきましては、レーシングゲームアプリの開発、eスポーツ大会の開催をいたしました。ゲームアプリの完成は2021年春を予定しておりますが、先行して開発費用160,800千円を研究開発費として計上しております。

この結果、売上高は40,045千円、セグメント損失は156,291千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,932,518千円となり、前連結会計年度末に比べ741,459千円減少しました。これは主に、仕掛販売用不動産が145,904千円増加した一方で、不動産物件の売却により販売用不動産が408,275千円、運用損により営業投資有価証券が206,819千円減少したことなどによるものであります。固定資産は549,289千円となり、前連結会計年度末に比べ209,935千円減少しました。これは主に、のれんが77,259千円減少したこと、アトリエブックアンドベッド株式会社の固定資産について減損損失223,053千円を計上したことなどによるものであります。繰延資産は0円となり、前連結会計年度末に比べ15,585千円減少しました。

この結果、総資産は2,481,807千円となり、前連結会計年度末に比べ966,981千円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,279,194千円となり、前連結会計年度末に比べ285,188千円減少しました。これは主に、短期借入金が190,000千円増加した一方で、不動産物件の売却による返済で1年内返済予定の長期借入金が566,571千円減少したことなどによるものであります。固定負債は767,004千円となり、前連結会計年度末に比べ361,792千円増加しました。これは主に、長期借入金が355,713千円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は2,046,198千円となり、前連結会計年度末に比べ76,604千円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は435,609千円となり、前連結会計年度末と比べ1,043,586千円減少しました。これは主に、新株予約権の行使により資本金が156,129千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失1,315,238千円を計上したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は16.6%（前連結会計年度末は42.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年2月12日）公表いたしました「助成金、営業投資有価証券運用損、特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 249,811 | 232,894 |
| 売掛金 | 50,469 | 70,938 |
| 営業貸付金 | 424,245 | 245,348 |
| 営業投資有価証券 | 465,703 | 258,883 |
| 販売用不動産 | 713,201 | 304,925 |
| 仕掛販売用不動産 | 644,824 | 790,728 |
| 前渡金 | 58,428 | 39,951 |
| その他 | 91,755 | 129,599 |
| 貸倒引当金 | △24,461 | △35,753 |
| 投資損失引当金 | — | △105,000 |
| 流動資産合計 | 2,673,977 | 1,932,518 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 263,954 | 103,048 |
| リース資産（純額） | 3,101 | 1,263 |
| その他（純額） | 59,539 | 62,155 |
| 有形固定資産合計 | 326,594 | 166,467 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 331,617 | 254,358 |
| その他 | 1,738 | 7,602 |
| 無形固定資産合計 | 333,355 | 261,960 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期営業債権 | 165,321 | 193,881 |
| 敷金及び保証金 | 94,660 | 74,021 |
| その他 | 4,614 | 46,840 |
| 貸倒引当金 | △165,321 | △193,881 |
| 投資その他の資産合計 | 99,275 | 120,861 |
| 固定資産合計 | 759,225 | 549,289 |
| 繰延資産 | | |
| 株式交付費 | 14,863 | — |
| その他 | 721 | — |
| 繰延資産合計 | 15,585 | — |
| 資産合計 | 3,448,789 | 2,481,807 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 38,339 | 39,485 |
| 短期借入金 | 110,000 | 300,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 646,896 | 80,324 |
| 未払法人税等 | 10,421 | 5,728 |
| 未払金 | 71,825 | 124,990 |
| 前受金 | 659,316 | 659,829 |
| 店舗閉鎖損失引当金 | — | 18,139 |
| その他 | 27,582 | 50,695 |
| 流動負債合計 | 1,564,382 | 1,279,194 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 403,767 | 759,481 |
| 繰延税金負債 | 608 | 1,183 |
| その他 | 836 | 6,339 |
| 固定負債合計 | 405,211 | 767,004 |
| 負債合計 | 1,969,593 | 2,046,198 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,183,398 | 1,339,528 |
| 資本剰余金 | 1,218,198 | 1,314,328 |
| 利益剰余金 | △902,889 | △2,218,128 |
| 自己株式 | △24,876 | △24,876 |
| 株主資本合計 | 1,473,832 | 410,852 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,150 | 2,238 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,150 | 2,238 |
| 新株予約権 | 2,560 | 18,375 |
| 非支配株主持分 | 1,652 | 4,143 |
| 純資産合計 | 1,479,195 | 435,609 |
| 負債純資産合計 | 3,448,789 | 2,481,807 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 2,309,305 | 1,442,472 |
| 売上原価 | 2,129,137 | 1,461,835 |
| 売上総利益又は売上総損失(△) | 180,168 | △19,362 |
| 販売費及び一般管理費 | 300,862 | 1,057,424 |
| 営業損失(△) | △120,694 | △1,076,787 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 14 | 6 |
| 為替差益 | 242 | — |
| 持分法による投資利益 | 1,177 | 207 |
| 雇用調整助成金 | — | 110,592 |
| その他 | 3,073 | 26,215 |
| 営業外収益合計 | 4,507 | 137,022 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 13,630 | 26,180 |
| 支払手数料 | — | 11,402 |
| 社債発行費等償却 | 588 | 5,024 |
| 株式交付費償却 | 13,849 | 14,897 |
| その他 | 128 | 510 |
| 営業外費用合計 | 28,196 | 58,016 |
| 経常損失(△) | △144,384 | △997,780 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 1,114 | 2,560 |
| 持分変動利益 | 3 | — |
| その他 | — | 189 |
| 特別利益合計 | 1,117 | 2,749 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 5,967 | — |
| 投資有価証券売却損 | 919 | — |
| 事業譲渡損 | 5,850 | — |
| 移転費用引当金繰入額 | 6,800 | — |
| 減損損失 | — | 274,024 |
| 店舗閉鎖損失 | — | 24,446 |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | — | 18,139 |
| その他 | — | 0 |
| 特別損失合計 | 19,537 | 316,610 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △162,803 | △1,311,641 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,472 | 4,105 |
| 法人税等調整額 | 4,584 | — |
| 法人税等合計 | 6,057 | 4,105 |
| 四半期純損失(△) | △168,861 | △1,315,747 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 431 | △508 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △169,293 | △1,315,238 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純損失(△) | △168,861 | △1,315,747 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △912 | 1,087 |
| その他の包括利益合計 | △912 | 1,087 |
| 四半期包括利益 | △169,774 | △1,314,659 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △170,205 | △1,314,150 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 431 | △508 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う政府緊急事態宣言、政府及び自治体からの各種要請等を受けて、当社グループの空間プロデュース事業セグメントでホテルを運営する連結子会社アトリエブックアンドベッド株式会社及びナイトクラブを運営する連結子会社 株式会社CAMELOTは、当社連結子会社となって間もない2020年4月から、店舗の臨時休業及び営業時間短縮等の営業自粛を行ってまいりました。また、顧客来店型の事業展開を行っているこれらの子会社では、東京オリンピックの開催延期や外出自粛等により需要が激減しており、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、当社グループの経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な悪影響を及ぼしております。

この結果、当第3四半期連結累計期間では、重要な営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上し、当連結会計年度でも、大幅な赤字決算が予想されております。また、今後の資金繰りにも懸念が生じており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループでは、このような状況を解消するために、当社グループの役職員を対象としたストック・オプション制度の活用による手許資金確保、各種給付金や雇用調整助成金制度の活用、新型コロナウイルス感染症特例貸付制度の活用、新型コロナウイルス感染症特例リスクスケジュール制度を活用した金融機関への支払猶予要請、一部支払債務の支払猶予要請、緊急経済対策に基づく税金及び社会保険料の納税猶予制度の利用、その他の経費の見直しや削減等の各種施策を実行し、資金繰りの改善を図っております。また、新規の資金調達も検討してまいります。

営業面では宿泊施設での日中のカフェ営業やナイトクラブでのeスポーツイベント開催など安全面に配慮しつつ営業活動を実行し、収益獲得に努めております。また、新規事業での収益獲得も進めてまいります。

しかしながら、これらの対応策は、ご支援いただく関係先のご意向等に左右されるものであり、各種施策は実行途上にあること、また、当該感染症の収束やその後の需要の回復は不透明であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社は、当第3四半期連結累計期間において新株予約権の行使による払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ139,317千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,100,315千円、資本剰余金が1,135,115千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当社は、当第3四半期連結累計期間において新株予約権の行使による払込みを受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ156,129千円増加しました。また、第2四半期連結会計期間において連結子会社である株式会社CAMELOTの株式20%を追加取得したことにより、資本剰余金が60,000千円減少しました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,339,528千円、資本剰余金が1,314,328千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

単位(千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-------------------|-----------|--------------|-----------|
| | 金融サービス事業 | サイバーセキュリティ事業 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,062,776 | 246,528 | 2,309,305 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - |
| 計 | 2,062,776 | 246,528 | 2,309,305 |
| セグメント損失(△) | △77,020 | △43,673 | △120,694 |

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-------------------|----------|--------------|------------|----------|------------|
| | 金融サービス事業 | サイバーセキュリティ事業 | 空間プロデュース事業 | ゲーム事業 | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 930,578 | 197,855 | 273,993 | 40,045 | 1,442,472 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 930,578 | 197,855 | 273,993 | 40,045 | 1,442,472 |
| セグメント利益又は損失(△) | △612,700 | 28,276 | △336,070 | △156,291 | △1,076,787 |

(注)報告セグメントの利益又は損失は営業損益ベースの数値であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は従来より金融サービス事業及びサイバーセキュリティ事業を主要な事業としておりましたが、前連結会計年度末日をみなし取得日として空間プロデュース事業を行うアトリエブックアンドベッド株式会社及び株式会社CAMELOTの2社を連結の範囲に含め、第1四半期連結会計期間から当該2社の業績を連結損益計算書に取り込んでおります。当該事実を鑑み、前連結会計年度から報告セグメントとして「空間プロデュース事業」を新たに追加しております。

また、当社は2020年よりゲームアプリの開発を始め、2020年9月及び12月には株式会社CAMELOTが運営するCLUB CAMELOTを会場としてeスポーツ大会を開催いたしました。今後の事業拡大に鑑みて第2四半期連結会計期間より報告セグメントとして「ゲーム事業」を新たに追加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

空間プロデュース事業において、閉店が決定した店舗及び営業損益が継続してマイナスである店舗等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において223,053千円であります。

また、のれんについては連結子会社であるアトリエブックアンドベッド株式会社において、新型コロナウイルス感染拡大の影響により株式会社取得時に想定していた利益が見込めなくなったため、のれんの未償却残高50,971千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

追加情報

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

第1四半期連結累計期間の四半期報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した、新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(繰延資産の処理)

支出の効果が期待されなくなった繰延資産を一括償却し営業外費用に計上しております。また、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の拡大など経営環境が不透明であることに鑑み、第1四半期連結累計期間から、株式交付費等の繰延資産の処理は、支出時に全額費用処理する方法に見直しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う政府緊急事態宣言、政府及び自治体からの各種要請等を受けて、当社グループの空間プロデュース事業セグメントでホステルを運営する連結子会社アトリエブックアンドベッド株式会社及びナイトクラブを運営する連結子会社 株式会社CAMELOTは、当社連結子会社となって間もない2020年4月から、店舗の臨時休業及び営業時間短縮等の営業自粛を行ってまいりました。また、顧客来店型の事業展開を行っているこれらの子会社では、東京オリンピックの開催延期や外出自粛等により需要が激減しており、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、当社グループの経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な悪影響を及ぼしております。

この結果、当第3四半期連結累計期間では、重要な営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上し、当連結会計年度でも、大幅な赤字決算が予想されております。また、今後の資金繰りにも懸念が生じており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループでは、このような状況を解消するために、当社グループの役職員を対象としたストック・オプション制度の活用による手許資金確保、各種給付金や雇用調整助成金制度の活用、新型コロナウイルス感染症特例貸付制度の活用、新型コロナウイルス感染症特例リスケジュール制度を活用した金融機関への支払猶予要請、一部支払債務の支払猶予要請、緊急経済対策に基づく税金及び社会保険料の納税猶予制度の利用、その他の経費の見直しや削減等の各種施策を実行し、資金繰りの改善を図っております。また、新規の資金調達も検討してまいります。

営業面では宿泊施設での日中のカフェ営業やナイトクラブでのeスポーツイベント開催など安全面に配慮しつつ営業活動を実行し、収益獲得に努めております。また、新規事業での収益獲得も進めてまいります。